

## IRCモデルロケット国際大会—大宮工業高校— ものづくり日本大賞・総理大臣賞受賞

第8回ものづくり日本大賞の総理大臣賞を埼玉県立大宮工業高校・ラジオ部が受賞し、去る1月8日に総理大臣官邸で授賞式が行われた。授賞理由は、中高生を対象としたIRCモデルロケット国際大会への2017年（2位）及び2018年（3位）の連続参加である。当工業会はこのIRCモデルロケット国際大会への参加支援を行っていることから、本誌でその概要を紹介する。



授賞式で安倍総理（中央左）と亀岡文科副大臣（中央右）を囲む大宮工業高校のメンバ

### 1. ものづくり日本大賞

内閣総理大臣表彰の「ものづくり日本大賞」は2005年の第1回に始まり、隔年で表彰が行われている。今回は2019年12月に第8回の受賞内容が発表された。この賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省の四省が連携し、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度である。この賞には以下の四部門がある。

- (1) 産業・社会を支えるものづくり
- (2) 文化を支えるものづくり
- (3) ものづくりを支える高度な技能

- (4) ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

なお、総理大臣賞以外に、各省の大臣賞、特別賞、優秀賞がある。

### 2. 大宮工業高校の受賞理由

大宮工業高校が受賞した部門は、上記の(4)ものづくりの将来を担う高度な技術・技能部門である。

大宮工業高校は、2017年パリで開催されたIRC（International Rocketry Challenge）モデルロケット国際大会に出場し、第2位の成績を収めた。また2018年に英国ファンボローで開



安倍総理にモデルロケットを説明（出典：首相官邸HP）

催されたIRC国際大会にも連続して出場し、3位の成績を収めたことが評価された。

### 3. IRCモデルロケット国際大会

モデルロケットは、紙・木・プラスチックで自作するロケットで、中高生の参加するこの大会は全長1m弱の中型のモデルロケットを高度約240mに打上げる競技である。目標高度と到達高度との差が計測される。さらに、ロケットに搭載された生卵を傷つけない様にパラシュートで回収しなければならない。

元々は米国の航空宇宙工業会（AIA：Aerospace Industries Association）がSTEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics）教育の一環として開始した競技に、英国の工業会（ADS）とフランスの工業会（GIFAS）が加わり国際大会が開始された。

我が国にもこの国際大会への招待状が届き、2016年から日本の代表チームが参加している。

日本国内では日本モデルロケット協会が主催者となり、ロケット甲子園の名称で、地方公式競技会と全国大会（静岡県朝霧高原）を開催しており、このロケット甲子園の優勝チームが次年の国際大会に参加している。

当工業会としても青少年育成・STEM教育が重要と考え、日本チームの国際大会参加支援を行ってきているところである。なお、趣旨に賛同頂いた企業の方（㈱IHI殿、ナブテスコ㈱殿、ロッキード・マーチン・ジャパン殿）にも渡航支援を行っていただいていることを申し添える。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部（宇宙担当）部長 宇治 勝〕